

東北海区沿岸水温予報(2013年)

海域	経過 (4~6月)	現況(7月上旬~ 7月下旬)	見通し (8~9月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	●定置水温 4月~5月中旬までは平年並みからやや低めに推移。その後は平年並みからやや高めに推移。 ●定線観測 太平洋沖合定線観測(5/30-6/5)では津軽暖流の0m層、50m層、100m層共にやや低め。 日本海沖合定線観測(5/28-30)では対馬暖流の0m層、50m層と100m層共に平年並み。	●定置水温 月初平年並み、その後高温傾向が強まり、中旬はかなり高めとなった。 ●定線観測 (観測なし)	平年並みからやや高めと予測	6月の日本海沖合定線観測で、対馬暖流の勢力が平年並と判断された他、表面水温が高めだったことから、今後、その影響が太平洋沿岸に及ぶと予測。	特になし
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	【4月】 表面水温: 距岸10海里以内は、県北部から県中北部が「平年並み」、県中南部以南が概ね「極めて高い」。距岸10海里以東は、県北部が「平年並み」のほかは「極めて高い」。 100m 深水温: 距岸10海里以内は、全域概ね「平年並み」。距岸10海里以東は、全域「やや高い」~「極めて高い」。 【5月】 表面水温: 距岸10海里以内は、県中北部が概ね「平年並み」のほかは「やや低い」~「極めて低い」。距岸10海里以東は、県北部が「低い」のほかは「平年並み」か「やや高い」。 100m 深水温: 距岸10海里以内は、県中部が「やや高い」のほかは「平年並み」か「極めて低い」。距岸10海里以東は、県北部から県中部沖10~20海里が「やや低い」か「低い」のほかは「平年並み」か「やや高い」。 【6月】 表面水温: 距岸10海里以内は、「やや高い」~「極めて高い」。距岸10海里以東は、県中部沖が概ね「平年並み」のほかは「やや高い」。 100m 深水温: 距岸10海里以内は全域「平年並み」。距岸10海里以東は県南部沖20海里付近が「低い」のほかは「やや高い」か「極めて高い」。	表面水温: 距岸10海里以内は、県中北部から県北部が「やや高い」~「高い」のほかは「平年並み」。 距岸10海里以東は、県中部沖50海里付近と県南部沖30~40海里が「やや低い」のほかは「平年並み」。 100m 深水温: 距岸10海里以内は県中北部から県北部が「やや高い」のほかは「平年並み」。距岸10海里以東は、県中部沖が「やや低い」~「低い」のほかは「平年並み」。	本県沿岸全域「平年並」と予測。	農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した統計的予測モデルによる。	ブリの好漁
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<4月中旬> 『本県沖合の表層は4~12℃台で、雄勝沖の142° E付近、亶理沖の142° 30' E付近で親潮系冷水と黒潮系暖水の潮境が形成されていた。』 【表面水温】 本県沖合の表面水温は、4~12℃台となっていた。仙台湾も6~9℃台となっていた。雄勝沖の142° E付近、亶理沖の142° 30' E付近で親潮系冷水と黒潮系暖水の潮境が形成されていた。 【100m 深水温】 100m 深水温については、3~7℃台となっていた。平年と比較すると、概ね0~2℃低めとなっていた。 <5月上、中旬> 『本県の沖合では水温が低く、親潮系冷水が波及していた。』 【表面水温】 本県の表面水温は、親潮系冷水が南下していたことから4~11℃台となっており、平年よりも1~6℃低めとなっていた 【100m 深水温】 100m 深水温については、2~8℃台となっており、概ね平年よりも1~4℃低めとなっていた。 <6月上旬> 『本県沿岸の表面水温は前月よりも2~11℃昇温しましたが、沖合では平年よりも低めとなっていた。』 【表面水温】 本県の表面水温は11~18℃台となっており、先月の調査(5月9~13日)よりも2~11℃昇温したが、平年よりも1~3℃程度低めとなっていた。なお、仙台湾では12~18℃台となっており、先月の調査(5月9~13日)よりも2~7℃昇温した。 【100m 深水温】 100m 深水温については1~8℃台となっており、平年よりも1~4℃程度低めとなっていた。	<7月上旬> 『本県の沿岸水温は平年並みとなっていた。』 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合の表面水温は、14~21℃台となっており、ほぼ平年並みとなっていた。 【100m 深水温】 100m 深水温については、4~10℃台となっていた。38° N 142° 50' E付近には4℃台の冷水がみられた。	<8月> 38° 50' Nライン(気仙沼沖)、38° 30' Nライン(雄勝沖)は平年並みで推移する。 38° Nライン(亶理沖)の141° 50' Eは平年並み、142° 10' Eから30' は低く、142° 50' E以東は極めて低く推移する。 <9月> 38° 50' Nライン(気仙沼沖)、38° 30' Nライン(雄勝沖)は平年並みで推移する。 38° Nライン(亶理沖)の141° 50' Eは平年並み、142° 30' E以東はやや低く推移する。	38° 50' Nライン(気仙沼沖)、38° 30' Nライン(雄勝沖)の142° 30' E以西38° Nライン(亶理沖)の142° 10' E以西については、水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデルにより、その他の海域については類似年モデルによる予測。	クロマグロ、マイワシ好漁、スルメイカ不漁

<p>常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試 発表)</p>	<p>表層では4月は平年並み、5～6月はやや低めで推移した。100m深では4,6月はやや低め、5月は平年並みで推移した。</p>	<p>8月の海洋観測の結果、表層では「平年並み」であった。このうち、塩屋崎は「やや高め」、富岡、鶴ノ尾崎は「平年並み」であった。100m深では「やや低め」であった。塩屋崎、富岡、鶴ノ尾崎のいずれも「やや低め」であった。</p>	<p>「平年並み」～「やや高め」で推移する</p>	<p>7月に海洋観測で得た水温を用いて自己回帰分析を実施した結果、「平年並み～やや低め」となった。一方、気象庁の1カ月予報(7/11～8/10)では、親潮の面積は「予報期間前半は平年より小さく、期間後半は平年並」と予想され、房総半島における黒潮が8月上旬には接岸して流れる」となっている。また、FRA-ROMSによる予報では、8月上旬から黒潮流の影響が強くなること示唆されている。本県沿岸域においては黒潮系暖水による影響の方が、自己回帰分析にて解析している海況の周期性による影響より大きいと考えられるので、高め基調になると予測した。</p>	<p>4～5月にかけて、親潮系冷水、黒潮系暖水とも波及が強まり、本県沖に例年以上の強い潮目が形成された。</p>
<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試 発表)</p>	<p>4月中旬は、暖水波及が続いたため、表層～100m深では全域で「やや高め～極めて高め」であった。潮流の特徴として、1ノット以上の真潮(北向きの潮流)が大洗および鹿島定線の沿岸で観測された。5月中旬は、暖水波及がみられた鹿島灘沿岸の表層を除き、本県海域の広い範囲で「極めて低め～やや低め」となった。冷水南下の影響により、今年1月以降続いていた「高め基調」から一転して「低め基調」となった。潮流の特徴として、北方からの冷水南下に伴い、会瀬・大洗定線の沖合で1ノット前後の比較的に強い逆潮(南向きの潮流)が観測された。6月上旬は、沿岸表層で「平年並」、沖合表層で「やや高め～高め」であった。下層(50m以深)は黒潮流路を除いて「低め～やや低め」であった。東経142° 以東の沖合では黒潮本流の北東への強い潮流(2～4ノット)がみられた。沿岸域(特に会瀬・大洗沖)ではやや強い逆潮(0.7～0.9ノット)がみられた。</p>	<p>7月上旬は、表層では「低め～平年並」、沖合で「高め基調」であった。下層(50m以深)では黒潮流路を除いて「低め基調」であった。潮流は、6月上旬とほぼ同じ傾向であった。</p>	<p>「低め～平年並」で推移する。</p>	<p>①7月の100m深水温図によると、三陸～鹿島灘の広い範囲で冷水域(100m深3～9℃台)がみられている。②8～9月の東北海における海況の見通しでは、親潮第一分枝の張り出しは平年並～かなり南偏(北緯37° 40'～40° 40')で推移すると予測されており、東北海域沿岸での冷水の影響は弱まらないことが予測される。③FRA-ROMSおよび東北海区海況予報によると、黒潮は8月下旬頃まで大吠埼を大きく離岸し、かつ東北東～東方に流去する流路が予測されている。このため、本県沖合での黒潮の直接的な影響は弱まることと予測される。</p>	<p>①4月の海洋観測において、会瀬沿岸(A-1・2・3)および大洗沖合(O-10)の表層で1975年以降の月別最高水温が記録された。本県沿岸で暖水の北上が続いたことと黒潮本流の流路が本県沖合を北偏傾向で通過した影響によるものとみられる。②3月下旬～4月上旬に鹿島沖において、クダクラゲが底びき網に大量入網したと予測されており、③2012年漁期に引き続き、底びき網によるヤリイカ漁が好調で推移した。④1～6月に日立～銚子沖で北部まき網がマイワシを約6万7千トン漁獲した。同期のマイワシ漁獲量としては過去10カ年で最も多かった。⑤5月の海洋観測において、鹿島・大吠埼定線の一部でノロ状の珪藻類が大量に採集された。⑥5～6月に県中部における流し網・釣り・定置網でのブリ類の漁獲が好調で推移した。</p>

各階級の水溫平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4℃～	+4.0℃～	+6.0℃～	+2.4℃～	+4.0℃～	+4.0℃～
高い (7.5%)	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	4.0～+5.9℃	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	+2.5～+3.9℃
やや高い (20%)	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	1.5～+3.9℃	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	+1.0～+2.4℃
平年並み (40%)	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	1.4～-1.4℃	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	+0.9～-0.9℃
やや低い (20%)	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	1.5～-3.9℃	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	-1.0～-2.4℃
低い (7.5%)	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	4.0～-5.9℃	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	-2.5～-3.9℃
極めて低い(2.5%)	-2.4℃～	-4.0℃～	-6.0℃～	-2.4℃～	-4.0℃～	-4.0℃～